生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	Pola-R-CHP 療法の安全性と有効性の検討		
1.研究の目的と方法	2021 年に従来の R-CHOP 療法（抗がん薬のリツキサン、エンドキサン、ドキソルビシン、オンコビン、プレドニンを組み合わせた治療）と新規治療である Pola-R-CHP 療法(R-CHOP 療法のオンコビンをポライビーに置き換えた治療)が比較され、報告されました。この報告において Pola-R-CHP 療法の無増悪生存期間(治療中にがんが進行せず安定した期間)の優位性に加えて、R-CHOP 療法と同等の安全性であることが明らかとなり、2022 年に日本でも Pola-R-CHP が保険承認されました。Pola-R-CHP 療法の日本における実地診療からの報告は乏しいため、本研究では Pola-R-CHP 療法の有効性と安全性について、従来の R-CHOP 療法を行った患者さんと比較もして明らかにします。治療の状況は診療録データを用いて調べます。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2028 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	Pola-R-CHP、R-CHOP 療法を施行したびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さんで、2015 年 1 月 1 日～2024 年 9 月 30 日の間に附属病院、柏病院、第三病院にて診断した 20 歳以上の方（調査期間は 2024 年 12 月 31 日までとします）。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、年齢、検査結果（血液検査、骨髄検査、診断に用いた検体の病理結果、画像所見）、治療法、治療効果、Pola-R-CHP や R-CHOP 療法の副作用など。	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　内科講座　腫瘍・血液内科
		氏名	郡司匡弘
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始：2024 年 1 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　内科学講座　腫瘍・血液内科 研究責任者：助教　郡司　匡弘（ぐんじ　ただひろ） 窓口担当者（附属病院）：助教　　郡司　匡弘（ぐんじ　ただひろ） （柏病院）：助教　　長尾　陸（ながお　りく） （第三病院）：助教　　福島　僚子（ふくしま　りょうこ） 電話番号：・本院　03-5400-1272（内線 3251）・柏病院 0471-64-1111（内線 2373） ・第三病院　03-3480-1151(内線 3135) 対応時間：平日 09：00　～　16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。